

データ駆動型研究で拓くプラズマ・核融合科学の進展

場所 九州大学西新プラザ 大会議室

日時 2020年11月30日 9:00~18:00

開始	終了	時間	発表者	所属	発表タイトル
	9:00	9:05	0:05		Opening
	9:05	9:20	0:15	大阪大学	Core-to-Core programの紹介
	9:20	9:40	0:20	九州大学	PANTAプラズマにおける乱流時系列データの統計モデリング
	9:40	10:00	0:20	九州大学	ヘリコン波プラズマにおけるイオンセンシティブプローブ計測の検討
	10:00	10:15	0:15	九州大学	直線プラズマにおける孤立波振動の決定論的部分の抽出
	10:15	10:25	0:10		
	10:25	10:40	0:15	大阪大学	タングステンスパッタリング率の結晶方位依存性
	10:40	10:55	0:15	大阪大学	PE-PLD法を用いたタングステン成膜に関する研究
	10:55	11:10	0:15	大阪大学	イットリウム系セラミックのプロセスガスプラズマ照射による影響に関する研究
	11:10	11:25	0:15	大阪大学	Effect of magnetic field strength on ECR plasma parameters
	11:25	11:35	0:10		
	11:35	11:55	0:20	大阪大学	Development of relativistic ion detector for laser experiments Acceleration of highly ionized gold with an extremely intense laser
	11:55	12:15	0:20	大阪大学	Takumi Minami and an ultra-thin gold foil suspended on a large-area suspended graphene target
	12:15	12:30	0:15	大阪大学	境 健太郎 非平衡プラズマ中の協同トムソン散乱
	12:30	14:00	1:30		昼休憩
	14:00	14:20	0:20	大阪大学	伊庭野健造 過渡熱負荷による損耗量予測に対する蒸気遮蔽効果の影響
	14:20	14:35	0:15	大阪大学	菊池雄大 磁場形状が過渡的熱負荷下でのW溶融挙動に及ぼす影響
	14:35	14:50	0:15	大阪大学	松嶋健吾 画像処理を用いた高熱負荷による金属溶融面の形態変化の予測
	14:50	15:05	0:15	大阪大学	松本晃 機械学習を用いた発光スペクトル分析によるプラズマの元素分析
	15:05	15:20	0:15	大阪大学	平井一生 ヘリウム励起ナノ構造を有する酸化タングステンの酸化状態と水素ガスセンシング性能の関係
	15:20	15:35	0:15	大阪大学	京崎大我 ヘリウム誘起ナノ構造の触媒への応用
	15:35	15:45	0:10		
	15:45	16:00	0:15	大阪大学	Didar Shokov Simulation of microtube implosion
	16:00	16:15	0:15	大阪大学	大西崇晴 Shock compression of cylindrical target for microtube implosion
	16:15	16:30	0:15	大阪大学	Ma Zixuan Pair creation by microbubble implosion
	16:30	16:40	0:10		
	16:40	17:00	0:20	九州大学	佐々木真 ケルビンヘルムホルツ乱流における流れ脈動過程の特異値分解解析
	17:00	17:15	0:15	九州大学	西村大輝 トモグラフィを用いたPANTAプラズマにおける突発的揺動の研究
	17:15	17:35	0:20	九州大学	文 贊鎬 トモグラフィを用いた直線磁化プラズマの3次元構造解析
	17:35	18:00	0:25		総合討論